

【本科】

卒業認定方針(ディプロマ・ポリシー)

Diploma Policy

次に示す能力(教育目標に対応した達成目標)を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定しています。【 】内は、対応する学習・教育目標

- 1 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。
【A 技術者としての基礎力】
- 2 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。
【B 持てる知識を使う応用力】
- 3 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。
【C 社会と自らを高める発展力】
- 4 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。
【D 地球の一員としての倫理力】
- 5 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。
【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】
- 6 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。
【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

Admission Policy

【1年次入学】

中学校、義務教育学校の卒業生及び中等教育学校前期課程修了者を主たる対象とする入学者として、次のような人を広く求めています。

- 1 ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人
- 2 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人
- 3 文化や自然環境を大切にする人

入学者選抜の実施方法は、推薦によるものと学力検査によるものがあり、次のように実施しています。

推薦による選抜は、作文(800字詰め原稿用紙、横書き1枚)、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。なお、建築学科は、作文に代わり鉛筆によるデッサンを行います。学力検査による選抜は、学力検査及び在籍(出身)学校長から提出された調査書を総合して判定します。

【4年次編入学】

工業高等学校または高等学校の工業に関する学科、普通科及び理数科の卒業生を主たる対象とする4年次への編入学者として、次のような人を広く求めています。

- 1 専門分野の基礎となる学力を有する人
- 2 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人
- 3 文化や自然環境に対する広い視野を持ち、周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

編入学者の選抜は、学力検査、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。

専攻科の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

Admission Policy

米子高専専攻科は、高専の卒業生を主たる対象とし、これにリフレッシュ・リカレント教育を希望する企業派遣の社会人学生及び海外からの留学生を加えて、生産システム工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻の3専攻を設け、それぞれの専攻を通してより高度な専門学術を教授します。また、教養教育及び実践的教育を通じて、幅広い教養と優れた人格を備えた広く産業の発展に寄与することのできる自立した技術者の養成を行っています。

本専攻科入学者として、以下に示す基本的な知識と意欲を持つ人材を求めています。

【生産システム工学専攻・物質工学専攻・建築学専攻】

- 1 基本的知識を有し、さらに高度な専門的知識を学びたい人
- 2 主体的に物事に取り組み、解決しようとする意欲のある人
- 3 学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人
- 4 他の人と協調しながら物事に取り組める人

入学者選抜の実施方法は、推薦によるものと学力検査及び社会人特別選抜によるものがあり、次のように実施しています。推薦による選抜は、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。学力検査による選抜は、学力検査、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。社会人特別選抜は、面接検査及び出願書類の内容を総合して判定します。